

環境にやさしい農業の推進

諏訪地域振興局農政課

■ 平成 30 年度活動状況

1 環境にやさしい肥料の拡大、減肥技術の検討・普及

セルリーの改良版畝内局所施肥用肥料（溶出 60 日タイプを減らし 40 日タイプを増やした）について、現行肥料との比較試験を平成 29 年度から継続して実施した。今年度の収穫時調査においても、現行肥料と改良型肥料との差は認められなかった。平成 31 年度も継続して試験を行い、平成 32 年度から改良型肥料に切り替える予定である。

2 環境にやさしい農業の取組推進

- ・エコファーマーの取得について個別指導を行い 2 名の農業者が新たに認定された。平成 30 年度現在のエコファーマー数は 84 名である。
- ・信州の環境にやさしい農産物認証の取組面積は、果樹（りんご）や水稻など 10 品目 19 件で認証面積は 108h であった。8 月から 9 月にかけて農政課と普及センターによる現地調査を行い、取組状況の確認を行った。
- ・環境保全型農業直接支払事業は、4 市町村(岡谷市、茅野市、富士見町、原村)、7 団体 38 名の農業者が取り組み、申請面積は 29.86ha となった。

目標指標	H28 基準年	H30 年度計画	H30 年度実績
信州の環境にやさしい農産物認証面積	68ha	85ha	108ha

長野県食と農業農村振興計画諏訪地域の発展方向より

3 「環境にやさしい農業」に対する消費者の理解促進

- ・環境にやさしい農業の取組状況についてHPやラジオを通じて紹介を行い、広く情報を発信した。

4 今後の取り組み

- ・引き続き、輪作体系の活用やオリジナル肥料の導入などの普及等による減肥の取組拡大を図る。平成 31 年度は、セルリー肥効調節型肥料検討を 3 か所で行う予定である。○環境にやさしい農業の農産物認証やエコファーマーの取得支援
- ・環境農業に取り組む農業者への支援として、信州の環境にやさしい農産物認証、エコファーマー等の取得時におけるアドバイス等を行う。
- ・エコファーマーや環境にやさしい農産物認証について消費者への理解醸成を図る。